

1. 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）により、四半期ごとに砂糖および異性化糖の需給見通しを公表している。6月に「平成28砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第4回）」を公表した（詳細は2017年7月号参照）。

平成28砂糖年度（10月～翌9月）の見通し

【砂糖】

総消費量：195万9000トン（前回見通しと同水準）

総供給量：186万9000トン（同2万トン減）

【異性化糖】

消費量および供給量：82万5000トン（同4000トン減）

表1 平成28砂糖年度における砂糖の需給見通し

(単位：千トン)

		平成27砂糖年度 (実績)	平成28砂糖年度				合計 (見通し)	
			10月-12月 (実績)	1月-3月 (実績)	4月-6月 (実績見込み)	7月-9月 (見通し)		
消費量	分みつ糖	1,923	510.4	444.8	471.5	495.9	1,923	
	含みつ糖	35	6.0	14.0	10.1	5.9	36	
	合計	1,958	516.4	458.8	481.6	501.8	1,959	
供給量	国内産糖	分みつ糖	805	317.5	313.2	47.4	-	678
		含みつ糖	8	0.8	8.3	1.2	-	10
		小計	813	318.3	321.5	48.6	-	688
	輸入糖	分みつ糖	1,164	370.1	186.9	292.4	321.4	1,171
		含みつ糖	11	1.6	4.7	2.7	0.9	10
		小計	1,175	371.7	191.6	295.1	322.3	1,181
	合計	分みつ糖	1,969	687.6	500.1	339.8	321.4	1,849
		含みつ糖	19	2.4	13.0	3.9	0.9	20
		小計	1,988	690.0	513.1	343.7	322.3	1,869
	期末在庫		314	487.6	527.6	425.2	245.7	246

資料：農林水産省「平成28砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第4回）」

注1：分みつ糖は精糖ベースの数量、含みつ糖は製品ベースの数量である。

注2：輸入糖の分みつ糖供給量は、機構売買数量である。

表2 平成28砂糖年度における異性化糖の需給見通し

(単位：千トン)

	平成27砂糖年度 (実績)	平成28砂糖年度				合計 (見通し)
		10月-12月 (実績)	1月-3月 (実績)	4月-6月 (実績見込み)	7月-9月 (見通し)	
消費量	818	177.3	182.9	240.9	223.8	825
供給量	818	177.3	182.9	240.9	223.8	825

資料：農林水産省「平成28砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第4回）」

注：標準異性化糖（果糖55%ものの固形ベース）に換算した数量である。

2. 異性化糖の移出動向

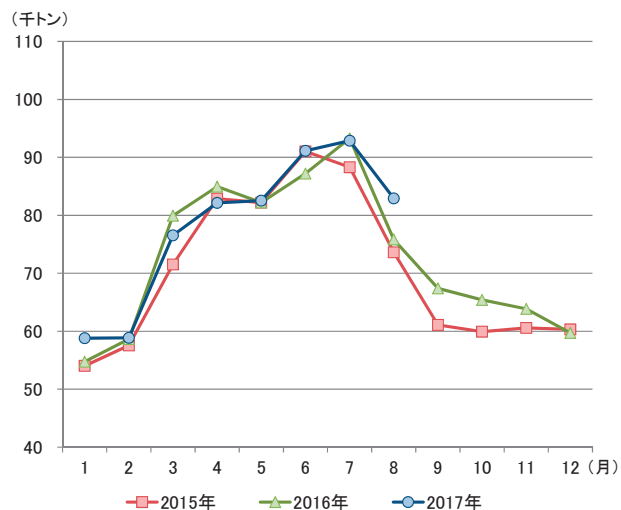
8月の移出数量は前年同月からかなりの程度増加

2017年8月の異性化糖の移出数量は、8万2930トン（前年同月比9.4%増、前月比10.7%減）であった（図1）。

8月の規格別の移出量は、次の通りであった（図2）。

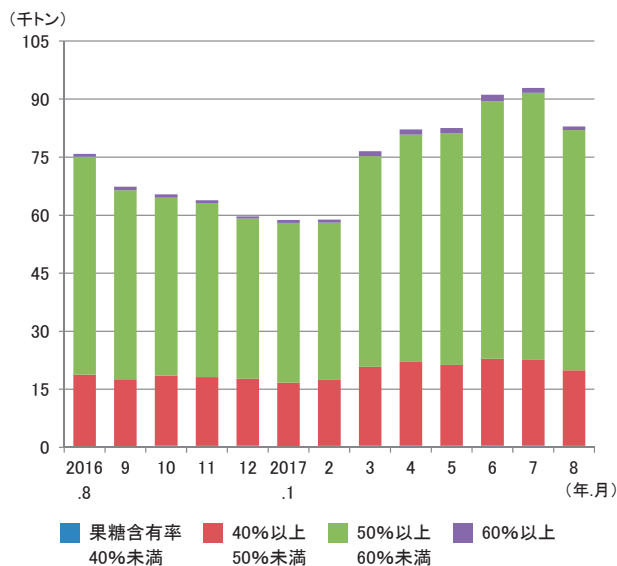
- 果糖含有率40%未満 377トン
（前年同月比14.6%増、前月比22.6%減）
- 同40%以上50%未満 1万9543トン
（同6.0%増、同11.6%減）
- 同50%以上60%未満 6万2070トン
（同10.2%増、同10.1%減）
- 同60%以上 940トン
（同26.7%増、同26.3%減）

図1 異性化糖の移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

図2 異性化糖の種類別移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

3. 輸入動向

【分みつ糖の輸入動向】

7月の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2017年7月の分みつ糖（HSコード 1701.14-110）の輸入量は、2万4200トン（前年同月比54.4%減、前月比57.3%減）であった（図3）。

輸入先国はタイ、米国および英国の3カ国で、輸入量は次の通りであった（図4）。

- タイ 2万4179トン
（前年同月比54.4%減、前月比57.3%減）
- 米国 19トン
（前年同月同、前月輸入実績なし）
- 英国 2トン
（前年同月および前月輸入実績なし）

また、同月における豪州からの高糖度原料糖（糖度98.5度以上99.3度未満、HSコード1701.14-200）の輸入量は、5万9137トン（前年同月比13.0%増、前月比38.7%減）であった。

図3 分みつ糖の輸入量の推移

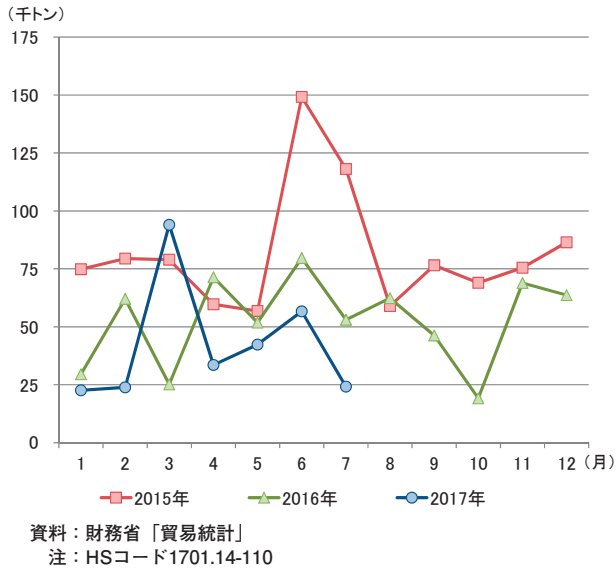
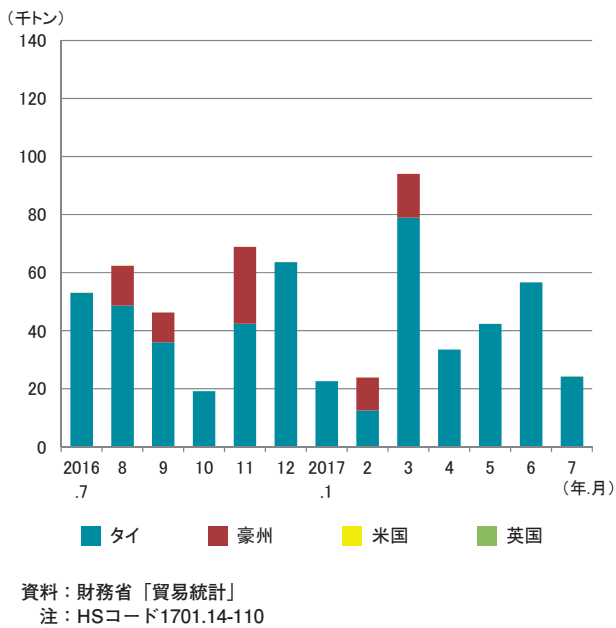


図4 分みつ糖の国別輸入量の推移



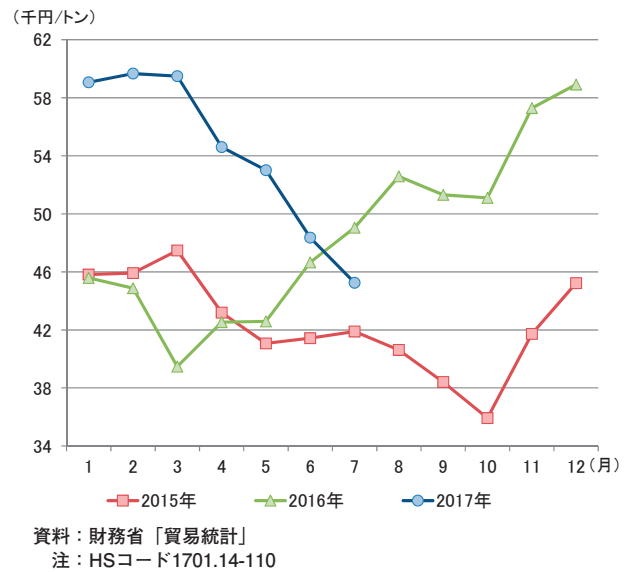
2017年7月の1トン当たりの輸入価格は、4万5250円（前年同月比7.7%安、前月比6.4%安）であった（図5）。

タイ 4万5173円
（前年同月比7.9%安、前月比6.6%安）
米国 10万6421円
（前年同月比9.1%高、前月輸入実績なし）

英国 39万7500円
（前年同月および前月輸入実績なし）

また、同月における豪州からの高糖度原料糖の1トン当たりの輸入価格は、4万4047円（前年同月比0.8%安、前月比10.2%安）であった。

図5 分みつ糖の輸入価格の推移



【含みつ糖の輸入動向】

7月の輸入量は前年同月から大幅に減少

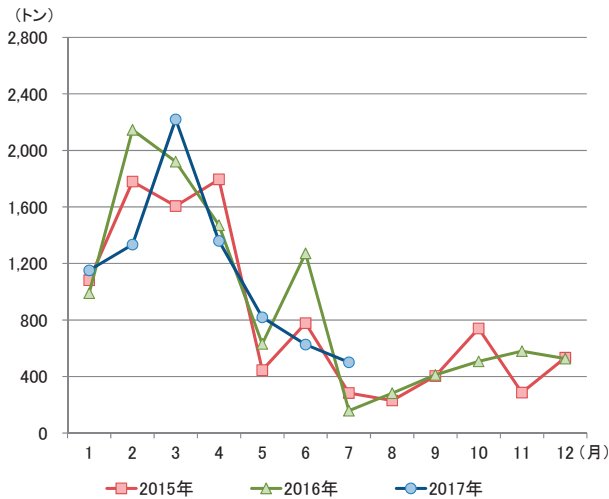
財務省「貿易統計」によると、2017年7月の含みつ糖（HSコード1701.13-000、1701.14-190）の輸入量は、501トン（前年同月比3.2倍、前月比20.0%減）であった（図6）。

輸入先国は中国、フィリピン、タイおよびコスタリカの4カ国で、国別の輸入量は次の通りであった（図7）。

中国 373トン
（前年同月比9.8倍、前月比10.6%減）
フィリピン 88トン
（同2.3倍、同20.5%増）
タイ 20トン
（同67.2%減、同85.3%減）

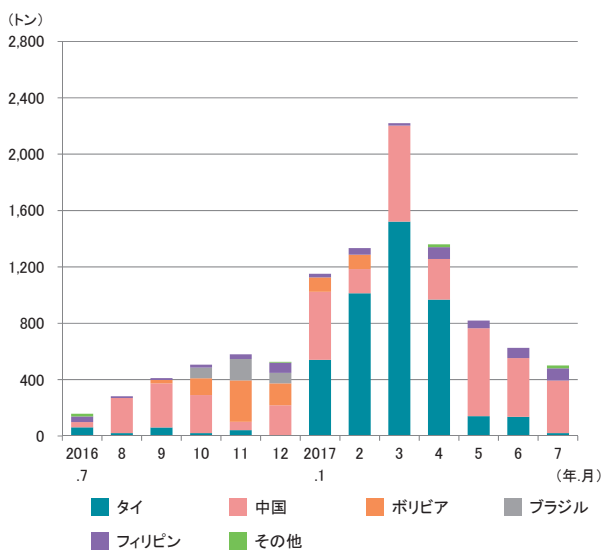
コスタリカ 20トン
(前年同月同、前月輸入実績なし)

図6 含みつ糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

図7 含みつ糖の国別輸入量の推移



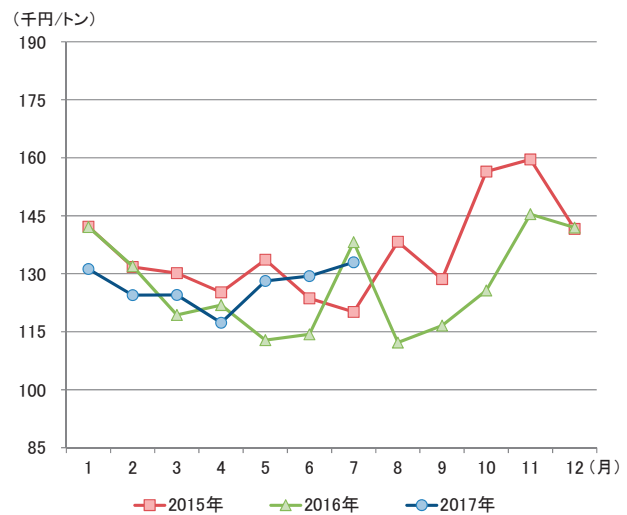
資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

2017年7月の1トン当たりの輸入価格は、13万2970円（前年同月比3.8%安、前月比2.8%高）であった（図8）。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

中国 12万8011円
(前年同月比13.4%高、前月比2.2%安)
フィリピン 14万6625円
(同29.7%安、同1.4%安)
タイ 11万5300円
(同15.0%高、同0.9%高)
コスタリカ 18万3050円
(同11.5%高、前月輸入実績なし)

図8 含みつ糖の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

【加糖調製品の輸入動向】

7月の加糖調製品の輸入量は前年同月並み

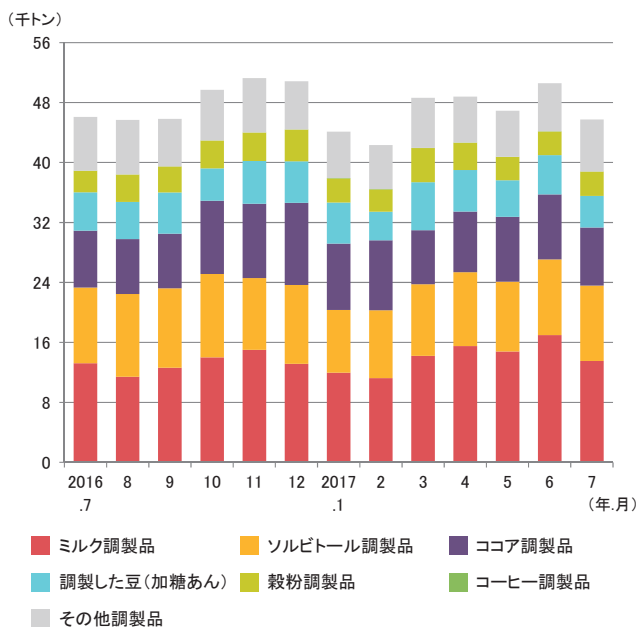
財務省「貿易統計」によると、2017年7月の加糖調製品の輸入量は、4万5748トン（前年同月比0.7%減、前月比9.5%減）であった（図9）。

品目別の輸入量は、次の通りであった。

ミルク調製品 1万3521トン
(前年同月比2.3%増、前月比20.4%減)
ソルビトール調製品 1万55トン
(同0.3%減、同0.6%減)
ココア調製品 7761トン
(同2.2%増、同10.4%減)

調製した豆（加糖あん） 4204トン
 （同18.1%減、同19.7%減）
 穀粉調製品 3252トン
 （同14.6%増、同2.9%増）
 コーヒー調製品 15トン
 （同59.9%減、同51.7%減）
 その他調製品 6940トン
 （同3.1%減、同8.5%増）

図9 加糖調製品の品目別輸入数量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：各品目のHSコードは次の通り。

ココア調製品：1806.10-100、1806.20.111、1806.20-190

コーヒー調製品：2101.11-100、2101.12-110、2101.12-246

調製した豆（加糖あん）：2005.40-190、2005.51-190、2005.99-119

ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-284

ソルビトール調製品：2106.90-510

穀粉調製品：1901.90-251、1901.90-252

その他調製品：2106.90-590、2101.20-246、2106.90-282、2106.10-219

4. 価格動向

【市場価格】

砂糖、異性化糖ともに前月と同水準で推移

8月の糖種別・地域別の砂糖価格（日経相場）は次の通りであった。

上白糖（大袋）

東京 1キログラム当たり189～190円

大阪 同190円
 名古屋 同193円
 関門 同193円

上白糖（小袋）

東京 1キログラム当たり202～203円
 大阪 同204円

本グラニュー糖（大袋）

東京 1キログラム当たり194～195円
 大阪 同195円
 名古屋 同198円

ビート・グラニュー糖（大袋）

東京 1キログラム当たり189～190円
 大阪 同190円
 名古屋 同191円

8月の異性化糖の価格（日経相場、大口需要家向け価格、東京、タンクローリーもの、JAS規格品、水分25%）は、次の通りであった。

果糖分42%もの

1キログラム当たり131～132円

果糖分55%もの

同137～138円

【小売価格】

8月の上白糖小袋の地域間の価格差は最大で21.6円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける8月の上白糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、192.8円（前年同月差4.5円高、前月差2.3円安）であった。

同月の地域別^{（注）}の平均小売価格は次の通りであった。

北海道	202.1円
(前年同月差9.0円高、前月差0.4円安)	
東北	197.4円
(同2.9円高、同5.0円安)	
関東など	180.5円
(同2.7円高、同0.5円安)	
首都圏	195.0円
(同9.0円高、同7.0円安)	
中部	183.3円
(同5.8円高、同0.4円高)	
関西	191.3円
(同0.2円高、同0.5円高)	
中国・四国	200.9円
(同0.1円安、同2.5円安)	
九州・沖縄	191.9円
(同4.9円高、同2.4円安)	

最も高かったのは北海道で、最も安かった関東などとの価格差は21.6円であった。

(注) 地域の内訳は次の通りである。以下、グラニュー糖および三温糖も同じである。

関東など：茨城県、栃木県、群馬県、長野県、山梨県、静岡県

首都圏：東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、三重県、愛知県

関西：大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、和歌山県、奈良県

8月のグラニュー糖小袋の地域間の価格差は最大で78.1円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける8月のグラニュー糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、241.8円（前年同月差3.6円高、前月差0.8円安）であった。

同月の地域別の平均小売価格は次の通りであった。

北海道	200.4円
(前年同月差11.2円高、前月差0.2円高)	
東北	278.5円
(同4.8円高、同0.7円安)	
関東など	250.8円
(同4.3円高、同0.2円高)	
首都圏	250.4円
(同5.0円高、同1.2円安)	
中部	252.4円
(同3.3円高、同0.1円高)	
関西	231.1円
(同1.5円安、同1.4円高)	
中国・四国	245.3円
(同0.4円安、同11.4円安)	
九州・沖縄	223.4円
(同3.6円高、同4.7円高)	

最も高かったのは東北で、最も安かった北海道との価格差は78.1円であった。

8月の三温糖小袋の地域間の価格差は最大で54.0円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける8月の三温糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、236.5円（前年同月差4.3円高、前月差1.1円安）であった。

同月の地域別の平均小売価格は次の通りであった。

北海道	235.9円
(前年同月差5.2円安、前月差2.8円安)	
東北	264.4円
(同9.3円高、同3.1円高)	
関東など	244.0円
(同8.3円高、同0.6円高)	
首都圏	235.7円
(同9.1円高、同1.0円安)	
中部	226.5円
(同0.7円高、同1.3円安)	

関西 231.5円

(同0.3円高、前月同)

中国・四国 248.8円

(同6.1円高、前月差9.2円安)

九州・沖縄 210.4円

(同3.2円高、同2.2円高)

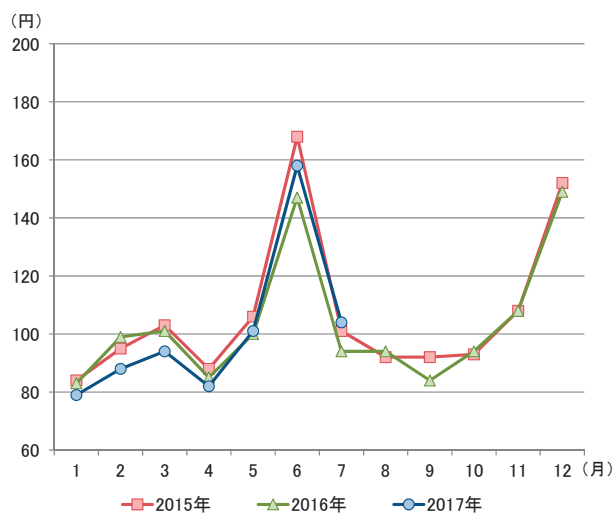
最も高かったのは東北で、最も安かった九州・沖縄との価格差は54.0円であった。

【購入金額および購入量】

7月の砂糖の支出金額は前年同月からかなりの程度上昇

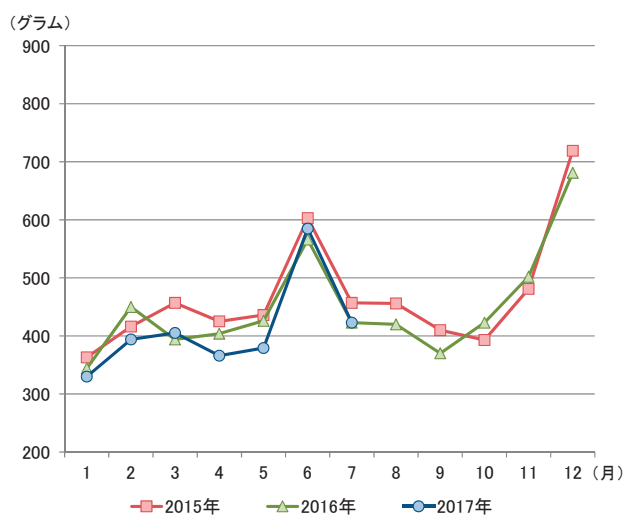
総務省「家計調査」によると、2017年7月における100世帯当たりの砂糖の購入頻度は38で、1世帯（2人以上）当たりの支出金額は、104円（前年同月比10.6%高、前月比34.2%安）であった（図10）。また、同月の1世帯当たりの砂糖の購入数量は、423グラム（前年同月同、同27.7%減）であった（図11）。

図10 1世帯当たりの砂糖に係る支出額の推移



資料：総務省「家計調査」

図11 1世帯当たりの砂糖の購入数量の推移



資料：総務省「家計調査」